圧送してい

オーダーだけで10台以いる。「すでにバック東地区で実績を高めて

特徴である。最長ブー

る機種もあ

ただき、

は38 mブーム車で、最 ムを誇るHCP5 Z38

クを使用し

車両を韓

し、メンテナンスに対の技術者を随時配置

り、2月に静岡県伊豆レーションを行ってお村社長自らデモンスト

は基本的に国産トラッ

ら5車種の車両

送業務を総合支援

接続できるパソコンや

トフォン、タブ

→T管理で①手書きに

システム導入による

ムはインターネットに

ることも可能だ。

位性を誇る。

特に建築

T活用で効率化、高精

東洋通信工業

_

ションシステム開発の

圧送業務の効率化のた

実績を持つ。同社のコを提供して30年以上の

業務を、配車計画の作

る

コンクリ

トの圧送

行③未収金の管理によ せた正確な請求書の発

用できる。

ステムは全国の圧送業

者に納入実績がある。

確認・サイン受領、 書の発行、作業の完了

売

算が簡易にできる⑤作

『数量』の自動計

上・請求、入金・売掛

業員名簿や工事経歴書

ンクリ

ト圧送管理シ

成に始まり、

作業指示

現場単価の参照や『常る、回収漏れの防止④

東京都新宿区に本社

東洋通信工業(六車徹

めの業務管理システム

現場を含め、どこでで レットがあれば、作業

スの防止②締日に合わ よる作業指示漏れ、

í リュ

社長)

はコンクリ

ク

CP管理

専用の業務管理システムで、 流れを一元的に管理できる

ンクリー

ト圧送管理シ

できる「クラウド版コ

の作業の流れを一元的

トする。業界特有

などのメリットがある。 が容易に作成できる-

こうした特徴に加え

既に導入したユー からは、スマホや

に管理することで業務

クラウドで利用

はインター

ネットに接

管理までトー

-タルでサ

20

16年7月から

社で活用されている。 今年4月現在で既に11 ステム」を新発売し、

上させる。

また、デー

-タベース

ことで現場での配車調

整が可能になる点が評

タブレットを利用する

の効率化と正確性を向

クラウド

版コンク

を利用して車両にかか

る経費を詳細に分析す

価されている。

特集

コンクリ

ートポンプ

ロールの設置なども国

重量規制の課題もあっで装置の大型化に伴い

メンテナンスも部品供

引き続き他県の業者も

で販売実績があるが、

張出し位置

る。ワイド

高め、 作業 定性を 一層

の安全性向

神奈川や群馬など

含めて販売強化を進め

州まで幅広く納車実績

いる。

また、

内ポンプ車と変わらな

細かい配慮が行き

たが、シャーシの軽量

たケースはない。 大きなトラブルになっ 給がスムーズに進み、

る。また、

ゼネコンに

化やブレーキの改良を

国産ポンプを上回る吐出力

東·北海道

奈川、奇玉)。 馬圧送だけでなく、神 車実績も同社系列の群

ングができるほか、車し、スムーズなポンピ

油圧システム)を導入 FFH (フリーフロー 車種。すべての車種に

転できるのが特徴。 ポース とい限定中型免許で運

車の場合、

故障した時

商材の開発、販中村光宏社長)は

また、外国製ポンプ

(福井市、

の国市で行ったデモで

場で発生する脱水ケ

7法25㎜。圧送距離は7法25㎜。圧送距離は

「モレステ」

全国

地でデ

É

認した。

使用した生コ

の後も改良を続け、中 も問題がなかった。そ

村社長は「6月にも改

テと生コンの品質を確

レステは100m圧送

を

開発

の投入、筒先

T字管へ

筒先でモレス

50mで閉塞したが、モろ、通常のモルタルは

は圧送

都圏や兵庫、群馬の圧は地元静岡のほか、首

生する紙粉が主原料、キと製紙工場などで発

33 mブー

ム車、

計画がある」と述べ、良型のモレステ圧送の

る。

チの輸送管で60m、フ

レキシブルホース7

生コンネットワー

ク

同社が加盟する元気な

を用いた総延長1

120m)で行った。m(水平換算距離で約

する技術勉強会in長 にビックハットで開催 (GNN) が 6月 9日

展する予定だ。

ている。関販売を行っ

大きな特徴である。納マイズされているのが

造したポン

が共同開発した車両

HCP5Z38 05

また、

中規模車両の

HCP3Z18は18 m3

今のスタイルにした」 を納車したいと考え、

ンプ車でありながら、

日本向けにカスタ

は同社と韓国メ

同社が扱うポンプ車

34 26 3 Z Z - H 18 H C H C P P 4 C P P 37 Z Z

5 段 ブ

ラックシャー

した車両である。 当社 にし、要のポンプ部分

した車両である。

かりした車両

川端工業

ムを実現して一シに34

で 22 3 8 0 5**Z**34は34 mブー

p S

ム車

国産車をベース

可能な限り改良をして りに意見を頂ければ、 後はより良い製品づく 形と考えておらず、「今 表)。現在の車両が完成

6685まで。

プ車の輸入

地区を中心

み、ポンプ に導入が進

者で導入が進むなど関

埼玉のポンプ業

両鋼板には北欧のWE

大型免許を保有

と指摘する声もあるが

行っているが、

、中でも

送組合、大手ゼネコン

「部品は韓国に依頼す

のメンテナンスが課題

ンプ業界に入りたてで

ない新人でも運転が可

OX社超高張力鋼

している点が

能である。

れば数日で到着する。

注目を集めている。中新商材「モレステ」が

集まった。その後、群生コン会社の関係者が

タルに比べ使用量が低するだけで、先行モルを現場で水と混合

い、今月中旬には福岡、馬や広島でデモを行

滅できる。

行ったデモでは主原料

の同比較を行ったとこ

モルタルとモレステ

2月に伊豆の国市で

圧送実績は

(第3種郵便物認可)

部品を扱う赤城産業

から37

ている。

拓していきたいと考え でも積極的に販路を開 関東·北海道地区以外

販売車種は「HCP

信を示す

代表の里見俊介氏は自

価を得ている。 HCP 使用性がユーザ

組んだ。

車両は運転

ポンプ車とポンプ車

(前橋市)は、

赤城産業

韓国メ

と開発

されており、

認知度は

折で、抜群の安定性・

は「強靭で軽量化する

上がっている」

一と同社

が評

ことを共同

開発で取り

ネコンの現場でも使用

の導入実績もすでに3

ーゼ

の車両上回る吐出力を

ムは5段屈

とっている。

里見代表

の強みである」(里見代に対応できるのは当社

輸入するスタイルを

Hと他の国産メー

力一

どを架装して、

日本に

いる。

迅速にトラブル

ポ

車を輸

販売

6 0 m

排出ガス規制もクリ

進めた。それらの効果

ズの増加が見込まれ

今後もポンプ車ニー

強度コンクリー

対しても同車による高

特殊コンクリ

トや特 トなど

17 m級ブームを搭載

上に寄与す

る。

旋回台の

もあり、ベトンテック

売体制を構築する。特

殊な地盤での施工実績

PRを

に関東地区は有望市場

重ねていく方針だ。 が増えており、 渡っている。

ている。排出ガス規制合致した技術力を有しアし、日本のニーズに

ている。

でなく、

でなく、北海道から九社の地元東海地区だけ

ンクリートポンプ車を RDIGM(エヴァダ設機械メーカーEVE ム)社が開発したコ

全国で使用事例が増えている 能力も誇り、東海地区優位性がある高い吐出 愛知、 する車輌を主力に据 ム車は「ECP47CX 用事例が増えている。 者が導入した。 致した47mブ だけでなく、全国で採 国内最長の47mブー 日本の法規制に合 三重のポンプ業 高強度 ム車も

36 ZXという36 mブーム車、 という28 mブーム車、 CX-5と同等で、中量や吐出圧はECP48 央集中電気スイッチや も販売数量を順調に伸 ウトリガーコント ている。 極東開発工業はコン

長距離圧送で優位 ・を販売 の高い長尺ブ 輸入、販売している。 プ車は日本国内ニーズ エヴァダイム社のポン 長距離圧送で優 で
5段
ブー ムを有 ている。 る。 の強度・性能を保持と ツの一部を従来と同等に準拠するため、パー 5Mpaと従来タイプ 台と見据えている。最 と変わらない性能を誇 ながら軽量化を果たし Hで、最大吐出圧は8・ く、今後の主力車の1 長い車輌ニーズが高 現場を中心にブームの 方、主力の28乙X また、道路交通法

極東開発工業

幅広

い製品開

発で実績

約73%アップ)を可能

出圧8·5Mpa(同

ンスミッションに接続 し、エンジン出力をド

-ランスファは.

ね備えたエッサーツイ 耐摩耗性と耐圧力を兼

構造による外層の二重

にした。

ライブシャフト

ている。この採用で、

ム配管の長寿命化

パイプを標準装備し

トランスファPTO

て車軸に分配する機構ペラシャフト)を介し

を図った。

一般的にコンク トポンプ車に使用

比約15%アップ)、最大出量90㎡/h(従来機吐出能力となる最大吐

圧大容量車両まで、

幅

コンクリートポンプ車を搭載したピストン式

コンクリ

「ピストンクリ

高

小規模工事向けの車両の車両を揃えており、 から大型工事向けの高 ン式、両方の圧送方式 スクイーズ式とピスト 多様な製品を取り揃え ポンプ車についても、 ト圧送の分野で コンクリー 広く提供している。 PY90-17」は中型車

動性の高い中型シャシ与したポンプ車だ。機 の機動力に大型車クラ 115車に17m級ブー W(車両総重量)

る。

また、メインシリ

ンダのボア(径)もア

ンスファに接続されて

になる。

に使用することが一

シ価格込み)。

同社はブー

925万円(税別、シャ カー希望小売価格は

を搭載して油圧ポンプ

0 (パワーテイクオフ

トランスファPT

-動力取り出し装置)

されている、

車両側,

であるため、

トランス

P Y 90

17のメ

ファPTOは、エ

ジジ

ランスミッション横に

プに、よりダイレクーンのパワーを油圧ポン

10と異なり、トラリ付けられるサイド

の性能を向上させてい

プさせ、

大型車並みの

いる。

ら配車や納入実績の最で更新され、外出先か 価する声もある。 画を立てられる点を評 新情報が確認でき、 段階で今後の作業計 タがリアルタイム 早 システム」と連動させ ることでさらなる効率 化が図れる。 NE しており、「クラウド版ー連携サービスも提供 タセンターを利用

ラウドグループ (電話

えて、さらに広く張出は標準張出し位置に加

張出し位置も選択で すことが可能なワ

> 式の圧送機等も開発 材の注入に用

ティも万全だ。

め、情報のセキュ

リ

用が可能だ。

フロントアウトリガ

のコンクリートポン

地盤改良時の固化

より幅広い現場での採

の製造に用いる定置式コンクリート二次製品

ムを搭載したことで

を搭載しない配管車や

ンプ車の他に、ブ 付きのコンクリ

17 m級のロングブ

したクラウド管理のた

ら利用できる。 加毎に5千円追加) システムは月額4万 (2ユーザー まで利

コ

くを大量圧送

り、多彩な打設姿勢をポンプ車だ。これによ長の5段ブームを持つ

る

 Δ

現場効率

化を期

待

になったほか、ヒンジ

とることができるよう

えが大きな特徴で、高は高圧、低圧の切り替また、32 mブーム車

アフターサ

入費用は30万円 間を改善するゼネコン 指定伝票作成サー 定請求書発行の作業手 てゼネコン各社への指 オプション製品とし 初期導

給与手当計算Exce 計算までを自動化する 夕をもとに給与

ンプ車は都市部で多いイスタージャパンのポ 高強度コンクリー 大量に圧送できる点で プクラスを誇るプツマ 車の世界シェアでト コンクリ 高 強 トポンプ

車を求めるニーズは高い。プツ社製のポンプ

車は以前発売してい 種である。38 mブー

ることで、高所での作

量13·0 M p a、

最大

圧モードでは最大吐出

掃出量108㎡/Hを

業性も改善されて

卓

(結合点)数が多くな

く、特に32m、38mブー

36 m ブ

ム車をベ

る。

同社では配管をわ

誇り、

る。

仕事を

工事向けで使用されて

ム車とも冷却

トなど都市型建築
 高強度コンク

他社の追随を許さ トを ム車は好評だ。 市場ニーズが高

F 38 38 mブーム車「BS 32 32 32 32 32 33 mブーム車「BS 33 mブーム車「BS 34 35 mブーム車「BS 35 mm きたいと考えてい ム車「BSF32 32



多彩な打設姿勢が可能に 期待できる 出量 最大吐出圧 スペックは と見込む。 効率改善が せ、現場の 8 5 M p a、最大吐

早く終わら

パンは現在、 いる。 構造の改善により、 いる。

ス時の廃油の減少な 減少した。 メンテナン 業油量を従来比で3% プツマイスタージャ -トポンプ車の製造ンは現在、コンク 環境にも配慮して ポンプ車を選択してい の改善につながると思 ただけるように努めた う。 集約し、顧客サービス が、 い」と話す ご迷惑をお掛けした 引き続き、 ようやく1か所に

産性アップとは何か、生月の圧送技術大会では る。 今後、順次発表し、外の商材など考えてい却、 先行モルタル材以 表取締役営業部長は える化や、鉄からの脱 レステ以外にも管の見 材の開発・販売を行っにも同社では様々な商 る。同社の河原伸一代近く集約する計画があ 圧送業の発展に尽くし 材の開発・販売を行 含めた顧客サービスで か所に分散されてい は東京都千代田区の3 技術·経理·総務部門 千葉県芝山町、 理)・補修部品の拠点が 拠点が静岡県磐田 「これまで生産体制も に焦点を当てた数編の いる。中村社長は「モ しかし、 ーと話す。 ービス(修 1か所に 来 年 2 当社の 営業・

東洋通信工業の クラウド版 コンクリート圧送管理システム

ェニュ 圧送業向け業務システム~

配車計画、作業指示書の発行から、請求書発行、売掛・入金 管理まで貴社の業務をトータルでサポートします!

30年の実績!! コンクリート圧送業に特化したシステム

①手書きによる作業指示漏れ・ミスを防止

②締日に合わせ、正確に請求書発行

③未収金の管理により、回収漏れを撲滅

④現場単価の参照、「常庸」と「数量」を自動計算 ⑤作業員名簿や工事経歴書も容易に作成できます

各業務データが連動しており、効率良く業務が回せます。 実績データを会計・給与計算・経費管理にも活用できます。



◆お問い合わせは以下まで 東洋通信工業株式会社 CP クラウドグループ 角尾・井本・松波・高橋 〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-25-7 TTK ビル TEL 03-6233-1831 FAX 03-6233-1785 e-mail:cp@totuko.co.jp

[エヴァダイム]

高品質な圧送を可能にする車両・機器を取り揃えています。



30ZX1815 理論最大吐出量 150㎡ 理論最大吐出圧 8.0mpa



内部のブー

配管に

内 層 •

36ZX1815 理論最大吐出量 150㎡ 理論最大吐出圧 8.0mpa



ECP47CX-5 理論最大吐出量 160㎡ 理論最大吐出圧 8.5mpa



〒511-0254 三重県員弁郡東員町大字中上2916-2 TEL〈0594〉86-0858 FAX〈0594〉86-0859 http://www.betontech.co.jp/